



©FUJI INTERNATIONAL SPEEDWAY CO.,LTD

介護予防教室「元気いっぱい貯筋教室」 第2クール開始



【第2クールが始まった
「元気いっぱい貯筋教室」】

豊明市の介護予防教室「元気いっぱい貯筋教室」の第2クールが、11月5日（水）より会場を豊明市勤労会館に移し始まった。

大好評であった第1クールの星城大学リハビリテーション学院島田容伸先生に引き続き、同学院の大田洋一先生を講師とした第2クールには、市内大久伝地区を中心とした地域の高齢者約30名が参加して始まった。

先生は、受講者を前に、まずは巧みな話術で緊張をほぐし、ストレッチの心構えである「リラックスして行うこと」「呼吸を止めないこと」「筋肉を意識しながら行うこと」など丁寧で分かりやすく、そしてユーモアを交えながらテンポよく進められた。

その後実技指導へ入り、熱心な再受講者からは活発な質問が出されるなど、健康への関心の高さをうかがわせる講座となった。第2クールは、12月17日（水）へと続く。

星城懇話会事務局便り

事務局では、多彩な催物を検討中です。観てみたい、聞いてみたい、体験してみたい、催物があれば事務局へご連絡ください。会員の皆様のご意見をお待ちしております。

星城懇話会事務局（担当：青井・河野）
〒460-0008 名古屋市中区栄1-14-32（名古屋石田学園法人本部内）
TEL052-221-8921 / FAX052-203-5243 / main@n-ishida.ac.jp

》男子バレー部優勝祝勝会

》F1日本GP観戦ツアー

》会員交流会

》日本GPフォト・ギャラリー

》元気いっぱい貯筋教室

星城懇話会

第9号

2008.12



©FUJI INTERNATIONAL SPEEDWAY CO.,LTD

【F1日本グランプリ 各マシン一斉にスタート 2008年10月12日（日）】

全国高等学校総合体育大会バレーボール競技と第63回国民体育大会バレーボール競技優勝祝賀会



【星城高等学校男子バレーボール部長・監督・部員】

8月の全国高等学校総合体育大会に引き続き、第63回国民体育大会（おおい国体）において、愛知県チームを優勝に導いた星城高等学校男子バレーボール部の優勝祝賀会が、10月18日（土）名古屋ガーデンパレスにおいて男子バレーボール部父母の会と星城高等学校の共催で開催された。

石田校長はじめ学校関係者、バレーボール部を支援する多くの方々が参加。

星城懇話会からは、浦野・谷口両理事が出席された。主催者の挨拶、ご来賓の祝辞のあと選手紹介が行われ、大きく成長し、真の覇者となった部員のどの顔からも愛知県のバレーボール史に残る快挙をなしとげた満足感が充ち溢れていた。



「中嶋一貴選手初めての
F1 日本 GP に参戦！！」
— 完走を果たす —

「F1 日本グランプリ開幕を目前にウィリアムズ・トヨタの中嶋一貴(23)が燃えている。今年、日本人初のフルタイム参戦デビューを飾り、今季第 15 戦シンガポールグランプリまでに 5 回の入賞でランク 15 位、表彰台こそまだ経験していないが、走るたびにたくましさを増している。日本グランプリは、いわば凱旋グランプリ、初の表彰台をその胸に期している。」と紙上で評判と期待が高かった本学園の卒業生で日本人初の F1 フルタイム参戦ドライバー。父・中嶋悟氏の熱い血を受け継ぎ世界のトップフォーミュラにたどり着いた中嶋

一貴選手の応援に 10 月 12 日、石田学園長、浦野懇話会理事をはじめ、50 名の会員カーレースファンが出かけた。

当日は、名古屋駅と刈谷ハイウェイオアシスの 2 か所より乗車、一路東名高速を富士スピードウェイへ。車中、ツアーの諸注意そして懇話会事務局より観戦チケットが、手渡されると一気に気持は日本グランプリへと盛り上がった。

協賛企業より提供された飲み物やお菓子を頂いているうちに富士スピードウェイに到着。広い駐車場満杯の観光バスと 10 万人を超える観衆に圧倒されながら、人の波にもまれ、やっとのことで観戦席にたどり着く。あいにく富士山を眺めることはできなかったが、目の前に広がった熱戦の舞台、整備の行き届いた素晴らしいコースに多くの会員から感嘆の声が上がった。



12 時より F1 ドライバーズパレードが始まり、マクラーレンのルイス・ハミルトンと共に元気な雄姿を見せた中嶋一貴選手に歓声が上がり、星城高等学校同窓会より寄贈された応援横断幕が高く掲げられた。

1 時 30 分より F1 決勝レースが始まった。レース前、「戦略的に攻めていくので、途中でリタイアするかもしれない」と話していたとされる中嶋一貴選手のマシンは、オープニングラップでの接触で、フロントウイングを失った。ピットストップを余儀なくされ、最後尾まで順位を落とす。その後、持前の粘り強さを発揮し周りの期待を背に追い上げを試みるも、15 位に終わった。

後日の紙上で中嶋一貴選手は、「楽しめた日本グランプリだった。来年は成長した姿を見てもらいたい」と力強く語った。

会員交流会



「大須賀ひできさんライブコンサート」に 60 名が酔う

星城懇話会会員交流会が 11 月 26 日(水)、アサヒビアレストラン、スーパードライ名古屋で行われ、日頃より星城懇話会のみならず名古屋石田学園にご支援とご協力を頂いている西川右近会長、谷口・折下理事、佐藤監事の他、教組の会員ご夫婦を含めて 60 余名が参加。

交流会は、会食をとりながら相互の名刺交換や懇談等の交流が始まり、その後シンガーソングライターでありミュージカル俳優の大須賀ひできさんの「ライブコンサート」がスタート。

本学園の「星」にちなんで「星に願いを」が、ギター演奏とともに届けられ、彼のオリジナル曲である「あの日のラブソング」・「おばあちゃんの半纏」と、その甘くやさしい歌声に大須賀ひできの世界へと引き込まれて行きました。手話のついた「雪のように」では、手話の手ほどきを頂き、全員が共演。

誰でもが一度は口ずさんだことのある青春のフォークソングメドレーへと続くと、会場は大いに盛り上がり、会員は懐かしさとともに日頃の忙しさを忘れ、素晴らしいステージに酔いしれることになりました。そして、感激の余韻の中、次回開催を期待する声が寄せられました。

Profile

1956 年 11 月 30 日 東京・新宿生まれ。射手座・B 型
1977 年「ひとり琴坂」(作詞/門屋憲二 作曲/大須賀ひでき)をリリース。1992 年東宝 60 周年記念超大作ミュージカル「ミスサイゴン」、1994 年には東宝ミュージカル「レ・ミゼラブル」に出演。その演技力を評価され、現在はミュージカル俳優としても活躍中。また、ライブワークとして取り組んでいる紙芝居ミュージカルは、全国の子ども劇場を中心に好評を博している。

